

# 議 会 だ よ り

## か み ふ ら の



No. 75  
2012.7.25発行

### contents

第2回定例会 各会計補正予算を原案可決ほか……………P 2

「多機能居宅介護施設について」など6名の議員が町政を問う……………P 5

「みんなのページ」今回は『ふらの・ものがたり文化の会(朗読班)』を取材……………P 11

身近な議会を目指して…



『力いっぱい夢を引きよせ』

(東中中学校 大運動会)

# 第2回定例会

第2回定例会が6月19・20日の2日間開催され、一般質問は6名の議員が町長、教育長に22項目の質問をしました。また、補正予算、条例改正、単独案件、議員発議案件が採択され閉会しました。



## 平成24年度一般会計

### 補正予算を可決

平成23年度の決算確定に伴う繰越金と繰入金、総合行政システム整備事業や保育所障がい児受け入れ環境整備事業、新健康管理システム更新事業及び長期滞在型観光促進事業等の一般会計補正予算を原案可決しました。

## ■6月補正予算の状況■

会計名	補正額	総予算額
一般会計	3,727万2千円	61億4,727万2千円
国民健康保険特別会計	7,194万7千円	14億4,978万1千円
後期高齢者医療特別会計	62万円	1億1,598万4千円
介護保険特別会計	2,601万4千円	8億345万3千円
ラベンダーハイツ事業特別会計	1,238万6千円	3億81万8千円
簡易水道事業特別会計	33万6千円	6,252万1千円
公共下水道事業特別会計	251万4千円	4億1,415万2千円

## 長期滞在型

### 観光促進事業を実施



北海道の長期滞在型観光を推進するため、町における観光体制整備の取り組みを支援する事業として20万円を追加補正しました。

事業内容は、参加者アンケート、地場食材を活用したメニューの提供など協議会を設置し、5泊6日以上の滞在型観光の地域の体制作りを進めます。受け入れ時期は8月下旬～9月下旬に30名～50名以下の受け入れを予定しています。

## 質問

### 「質」疑「か」ら

長期滞在型観光事業の目的は。また、今後どの様に活かそうとしているのか。

参加者のアンケート調査を基に、町の現状課題の通過型観光を少しでも滞在型に近づきたい。現在策定中の観光振興計画にもこのデータを活用したい。

また、この事業により、宿泊施設や体験施設、飲食関連施設などの観光関連団体等が連携できるように、一体化した観光事業を体験していただきたい。

## 保育所障がい児受入

### 環境整備事業を実施

障がいを持つ児童の入所に伴い、スロープが設置されていなかったわかば愛育園にスロープを設置するための設置費60万円の補正予算が可決されました。



わかば愛育園に設置されたスロープ

## 質疑から

問

何名の方が入所されるのか。他保育所での障がい児の入所状況は。

答

4月に1名が入所し、7月に1名が入所することになっている。

問

日常的な支援も必要になると思うが、町の体制はどのような体制になっているのか。

答

子どもセンターに発達支援センターを設けおり、各保育所や幼稚園に月に1回程度、行事があるときに、どのように園で行動をしているのかなどの確認を行いながら、保護者の方と情報共有をする機会を設け、子どもの健全な成長の一部にする対応をしている。

## 平成24年度各特別会計

### 補正予算を可決

平成23年度各特別会計の決算確定に伴う繰越金と繰入金を一般会計へ繰り出す補正予算を可決しました。

また、介護保険事業特別会計では、地域支援事業費で生きがい活動支援通所サービス事業として、閉じこもりがちな介護認定前の高齢者への介護予防事業を行う事業所の拡大に伴い、年間の委託経費などを増額する補正予算を可決しました。

## 閉じこもり予防

### 通所事業所を拡大

閉じこもりがちな高齢者の方々に、できるだけ介護サービスを受けずに元気に過ごしていただくため、生きがい活動支援通所サービス事業の実施事業所を拡大することに伴い、年間の委託経費等281万6千円を増額補正するものです。

## 質疑から

問

閉じこもりがちな高齢者の予防事業は何名ぐらいを対象と見込んでいるのか。

答

人数的には20名程度で予算を計上している。

問

対象者の選定はどのような方法で行ったのか。

答

ラベンダーハイツのデイサービスなどの待機者や、認知症の初期の方、こだわりが強く、家族も面倒を見るのが難しい方などがある。

## 老朽化に伴い

### スクールバスを更新

平成12年度に北海道の地域生活バス車両購入費等補助金により導入したが、法定耐用年数以上の12年が経過し、老朽化していることから、更新するための財産取得の件を原案可決しました。

## 意見書を国などに

### 提出しました

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律の改正を求める意見書

67年前に広島・長崎に投下された原子爆弾の被爆者が国に対して、被爆者などの実情に配慮し、被爆者の健康管理と治療、療養など国の責任で行い、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」を改正するよう要望する意見書です。

基地対策関係予算の増額等を求める意見書

今年度において、演習場などの防衛施設に対する基地交付金及び調整交付金は固定資産税の評価替えの年度にあたるため、これまで3年ごとに増額されている経緯を踏まえ、平成25年度予算において増額するとともに基地交付金の対象資産を拡大すること。また基地周辺対策経費の所要額を確保するとともに各事業の補助対象施設及び範囲の拡大等の適用基準の更なる緩和を図ることを要望する意見書です。



## 業務の安定化のため

### 総合行政システムを更新

平成17年度に北海道市町村備荒資金組合の防災資機材譲渡事業により整備し、稼働していますが、導入から6年が経過していることから、住民サービスに直結する基幹業務の安定化を図るため、関連機器及び一部業務システムを更新するための財産取得の件を原案可決しました。

### 「質」疑「量」から

システムの耐用年数は、

問

コンピュータ関連機器の法定耐用年数は、メーカーの保守も含めて5年となっている。

問

災害時の町の全般に関わるデータのバックアップ体制は、今後、どのような体制になるのか。

答

現在、庁舎の2階に全てのサーバーを整備しているが、庁舎に事故があったときにバックアップは取れないため、今回の更新にあわせて、耐震が十分な保健福祉総合センターかみに、バックアップを取れる整備をした。

## 外国人登録法の廃止に伴う

### 関係条例の改正

出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律が施行されることにより、外国人登録法が廃止され、住民基本台帳法

の一部を改正する法律が平成24年7月9日に改正されることから、外国人住民の利便の増進や市町村等の行政の合理化を図るため、関係条例の一部を改正する条例を原案可決しました。

### 特別職の給与引き下げ

特別職の給与は、平成17年度に一部改正を行ってから7年が経過し今回、特別職報酬等審議会に特別職の給料、議会議員の報酬の額について諮問し、6月4日に審議会より答申され、これらの答申内容に沿って関係条例の一部を改正する条例が原案可決されました。

改正では、町長の給与が現行の条例で月額75万円ですが国の経済状況も厳しく、町民の給与所得及び個人所得とも伸び悩んでいる現状を踏まえ、平成21年12月1日から

	現 行	改正後
町 長	75万円	72万円 (暫定支給中)
副町長	62万円	60万円 (暫定支給中)
教育長	56万5千円	55万5千円 (暫定支給中)

町長・副町長・教育長の給与の独自削減として暫定的に支給している72万円と同じく、副町長が月額62万円を60万円に、教育長が56万5千円から55万5千円とするものです。

## 第2回臨時会（4月19日開催）

○専決処分報告（上富良野町税条例の一部を改正する条例）

国の法律が4月1日からの改正に合わせるため専決処分とした「固定資産税の住宅用地に係る特例措置の廃止、負担調整措置条例の改正」など条例改正の専決処分を報告されました。

○上富良野西小学校体育館耐震改修工事（建築主体工事）  
請負契約締結の件を可決

指名競争入札により、契約金額、1億2千579万円で、佐川・木津経常共同企業が落札しました。



### ◆質疑から◆

問 体育館のどの部分が補強されるのか。

答 屋根の梁の鉄骨構造の一部に耐力が不足している部分があり、取り替えて補強を行う。また、床下についても、その梁を支える構造体に弱点が見つかったので一部施工を計画している。

問 万が一、工事等において完成後に何らかの不具合が生じた場合は瑕疵規定におけるメンテナンス等はどのような契約内容になっているのか。

答 明らかに施工側の責任ある瑕疵部分については、担保する形態になっている。ただ、設計に基づくものが発生した場合は3者協議により、何らかの補償措置を図らなければならないと考えている。



村上 和子 議員

## 多機能居宅介護施設を計画し 社協へ委託を考えているか 町が事業展開し、委託は 想定していない

村上議員 第5期介護計

画で、町としては平成26年度までに複合的な小規模多機能型居宅介護施設を整備する計画が策定された。社会福祉協議会を中心に準備が進められているが、「かみん」でデイサービスを行っているあさひ郷が、月曜日から金曜日までの介護予防の取り組みを6月から土曜日も行っている。わかば法人会が運営しているケアハウス等も今後、デイ

サービス等の事業展開の考えはないのか。NPO法人たんぽぽも水曜日・日曜日に宅老所を運営している。町の特養もデイサービス・ショートステイを運営し、民間の医師もこの様な事業展開を考えているということである。これらの状況をしっかりと踏まえて協力し合えるところは協力し合い、よく協議を重ね、認識を共有し、要介護者と家族が安心して生活介護をでき

る小規模多機能型居宅施設の導入を図ると考えるが、介護認定外のデイサービスを中心とするのか、町が計画し、社会福祉協議会に事業委託を考えているのか。

向山町長 第5期介護保

険事業計画に位置付けている複合型の小規模多機能型居宅介護施設については要介護認定者を対象として、訪問看護サービスを含めた施設を想定しているが看護師の確保や需要見込み等のハードルが高い。当面は通い

設、介護度が中・重度化しても在宅での生活が継続できる体制整備を支援する。当該施設の整備は町が自ら事業展開をして、委託することは想定していない。どのような事業所が担っていただけなのか鋭意推移を見て、町としての態度を明確にしている。



鷹栖町にある小規模多機能型施設「ぬくもりの家 えん」

## ボランティア活動者の 有償の仕組みも重要 必要な支援策を講じたい

待遇改善を

有償の仕組みも重要  
必要な支援策を講じたい

村上議員 町の福祉、介護予防事業に不可欠なボ

ランティア活動者に予算づけをし、ボランティア活動者の待遇の見直しを。

向山町長 ボランティア

## 学校給食の米飯を持参しては 完全給食を継続し

米飯持参は考えていない

村上議員 学校給食指定

工場が自己破産し、西川食品に米飯加工を委託し、保温する保温器や輸送代をかけて対応することとしたが、この機会に共働

き等の家庭もあり、忙しいことはわかるが親子のコミュニケーションを図りながら米飯の持参を考えてみてはどうか。

北川教育長 今回11日間迷惑をおかけした。地元1社しかなく苦慮し、事故があつても困ると考え、近郊で若干輸送費がかかるが、この部分は町が負担し北海道の給食会として対応した。お弁当持参の日を年7回実施してい

## その他の質問

Q 今年度から2歳未満におむつ用のごみ袋を無償提供する施策を出したが、今までの子育て支援策はニーズになつていないのか。子育て世代の方が意見し、評価を協議する場を設置してはどうか。  
A 子育て支援の各施策は様々なニーズの中で、重要度や優先度を考慮し、随時事業化を図っている。現時点では協議機関を設置することは考えていない。



今村 辰義 議員

## 速やかな水資源の 保全地域の提案を 環境を整備した段階で 早期に提案する

**今村議員**

北海道水資源

の保全に関する条例が24年4月1日に施行されたが、水資源保護の実効性確保には「町内のすべて



の地下水脈の把握は困難であり、独自での保全地域の提案は難しい。罰則規定がない。実態の見えない企業などの買付けを否定できない。」などの課題があると認識している。そこで、まず町は保全地域をどのように提案するのか。

**向山町長**

課題認識につ

いては議員と同様である。地下水脈については、地形・地質の要素が複雑に関係するので全ての地下

水脈を把握するのは困難な状況である。

今後、水資源保全地域に関する基本方針に基づき道と指定に向けて協議を進める。

**今村議員**

課題認識

は同じであると言うが、なぜ案の段階で問題点の意見を具申しなかったのか。

**向山町長**

当町の水

資源の多くは国有地や保安林であり、あえて素案に対する意見を言う環境にないと判断した。

**今村議員**

最近、道は66

地域を水資源保全地域の候補とした。10月1日から届け出制がスタートするが、町はいつ提案するのか、スピード感が必要。

**向山町長**

水資源の定義

が非常に広義であり、また、水源の多くは国有地や保安林の指定を受けており、水資源保護に関し非常に危機感を持つ状況



清らかな湧水

したい。

**今村議員**

海外資本など

による最新の水源地域の取得状況は。

## 停電時における 医療機関などの準備状況は 安全確保が図られるよう 備えをすすめている

**今村議員**

計画停電時等

において、病院、有床診療所、社会福祉施設などの停電対策の準備状況は。

**向山町長**

町立病院は自

家発電装置を備えており、停電時の体制は準備している。

有床診療所及び社会福祉施設は自家発電装置の備えはないが、現在生命維持に必要な医療機器を使用する方は入院していない。

**今村議員**

ニセコ町のよ

うな罰則規定のある町独自の条例を制定すべきと考えるが。

**向山町長**

現在のところ

取り組む予定はない。仮に制定するとしたら、どういうものがいいたいということは、これから勉強

**向山町長**

現在のところ

その様な状況は発生していない。今後も注意深く見守る。



町立病院





徳武 良弘 議員

## 増え続ける生活保護の対策は

### 町には生活保護の権限は無い

**徳武議員** 我が町的生活保護者の実態は、平成13年時点で72名が、平成24年時点で144名と約2倍となっており、増加の一途をたどっている。

この背景には何があるのか考えると、最低労働賃金が705円なのに対し、生活保護を時給に換算すると720円と報道されている。受給者全員がそうだとはいわれないが、働くよりも働かないほうが得だという風潮になっていると思うが、どのように考

え、対策を自治体としてとるのか伺う。

**向山町長** 生活保護受給者が過去最大を更新し続けている状況など、社会的にも問題視されていることは承知している。当町の場合、実施機関は上川総合振興局が担っており、町には生活保護に関する権限は無いので、具体的な対策について答える立場に無いことをご理解いただきたい。

**徳武議員** 働くよりも働かない方が得だという風

潮をどのように思うか。

**向山町長** 当然、あつてはならない。人間の基本にかかわることだと考える。

**徳武議員** ケースワーカーの調査の内容を確認できないか。

**向山町長** 町に権限が属さない部分であるため、中身を尋ねたり、意見をする事はできない仕組みだと理解している。

**徳武議員** 就労支援もできないのか。

**向山町長** ケースワーカーや権限を持っている

上川総合振興局が町に対して手伝いを求められた場合には対応は可能。

**徳武議員** 手伝いをするのは民生委員か。

**向山町長** 民生児童委員の役割は、相談を受けた

り、実態を把握したりする部分であり、自らが就労の手伝いをする義務までは負っているとは理解していない。

**徳武議員** 今後、このような形で人数が増えていくと思うが、何か町で対策は打てないのか。

**向山町長** 町として、生

活保護受給者を少なくするという特定の目的での事業展開は想定していない。

このような事象が多く出ている実態は非常に経済が低迷し、就労機会が十分に無いというよう

なことが大きく起因していると思う。これは国策として国が責任をもって対処していくべき事項だと理解している。

**徳武議員** 本心に保護が必要の人が受給を受けにくくなり、不正受給者が

増えることが懸念される

ない。

憲法の生存権の規定がなく、扶養の可否は親族の答えを信用する資産や働く能力などを

すべて活用しても生活に困ったとき、行政が手を出さず、25年度に

河本さんが「お金の面倒は自分が見る」と述べ、不正受給額も10年度に

は10年前の3倍の約130億円となった。

助け合い自立のため、生活保護の適正な運用は必要だが、受給のハードルが高まること

が、生活保護が任意で、行政の担当者

に、生活保護を受ける親族を訪問するなどして、年取や扶養できるかど

うかを尋ねる。全国公的扶助研究会の協力欄

の扶養を強制されたか

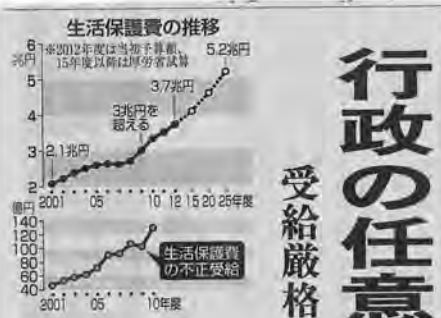
の扶養を強制されたか

の扶養を強制されたか

## 行政の任意調査限界

### 受給厳格化は孤独死懸念

平成24年5月26日の新聞記事（北海道新聞）



人気タレント界が指摘される一方、の河本準一さんが25歳以上の対応を急がせ、母親生活保護を。受給していたことを謝。2007年には約88万増、財政を圧迫して人々た生活保護受給者、小宮山洋子厚生労働相は支給水準の引き下げを検討する考えを明らかにした。行政による任意調査は限

要とする人は減りそう

上富良野町の生活保護人員の年度別推移

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
保護人員	72	85	89	87	87	83	84	92	111	129	144
保護世帯	57	64	67	67	68	66	66	71	83	93	101

が、そのことについて町長はどのように考えるのか。

**向山町長** そのようなことは好ましいことではないと考える。



岩崎 治男 議員

## 地域新エネルギービジョンの

### 推進を

## 地域全体で意識改革に取り組む

**岩崎議員** 平成23年3月

11日に発生した東日本大震災により、我々が必要不可欠な電力需要の見直しが求められている。原子力発電に依存するばかりではなく、自然エネルギーが大切である。地球温暖化対策に取り組むため、地域新エネルギービジョンを策定したが、今後の新エネルギー推進の方向性や導入施策について町長の考えを伺う。

**向山町長** 平成23年2月に新エネルギービジョン

**岩崎議員** 住宅リフォームの助成事業の事業実績は。

**北川町民生活課長** 昨年実績、住宅リフォーム40件、住宅機器等導入2件であった。

であった。

**岩崎議員** 二酸化炭素排出量削減のためのクリーンエネルギー公用車導入の経過と計画は。

**田中総務課長** 二酸化炭素削減対策の公用車の更新は、平成21年度に初めてハイブリッド車を1台導入、22年度に3台、23年度に7台、今年度はハイブリッド車1台を含めた7台の二酸化炭素を削減する環境に配慮した車



太陽光パネルを設置している住宅

の更新を進めている。

**岩崎議員** 自然を活用したエネルギーには、太陽光、風力、水力、地熱、

雪氷、バイオマス利用発電等があり、町の資源を活用した産業を起こすための施策を調べて、町内企業も含め、企業誘致活動に力を注ぐ必要があると思うがいかがか。

**向山町長** 新エネルギーには、発電、熱利用など

多岐にわたって想定できる。町の実態は、白銀荘にヒートポンプを活用している。上富良野小学校の改築にも可能な限り反映していきたい。民間レベルにおいても、上富良野町の再生可能な資源を活かした中で、新しいエネルギーに結びつけられるものが見出せたならば、町として大いに応援したい。

## 上小の校舎改築に省エネ・

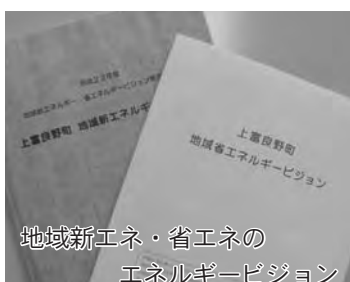
### 新エネの活用は

## 学校としての機能を確保しつつ

### 積極的に活用する

**岩崎議員** 上富良野小学校の校舎建替えは、平成25年、26年の2年間において完成の見込みであると思うが、東京電力福島原子力発電所の事故のような事が無いように、自然の力を利用したエネルギーの確保が必要と考えるが、省エネルギー、新エネルギーの活用について新校舎に対する考えは。

**北川教育長** 上富良野小学校の改築は、基本計画に基づいて、学校としての機能を確保しつつ、環境に配慮した学校校舎の実施設計を策定している。屋根や外壁はレンガ、湿式・乾式の外断熱工法によるデザイン。床や壁は蓄熱が可能なダイレクタヒートゲイン（広い窓などから直接太陽の光を



地域新エネ・省エネのエネルギービジョン





一色 美秀 議員

## 子どもたちの

## 食育の取り組みは

## 農業体験を通じて推進している

**一色議員** 平成17年に食

育基本法が成立し、食を通し生きる力を育む教育に重点がおかれ「食育」を意識した体験学習を取り入れる学校が増えた。

当町ではどの様に取り組んでいるのか伺いたい。

**北川教育長** 近年偏った

栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れや健康を取り巻く問題が深刻化しており、食を通じて地域を理解することや、食文化の継承を図ること。自然

の恵みや勤労の大切な

ど理解するため「食育」

を意識した農業体験の取り組みとして、小学校4

校、中学校2校全てで総

合学習、理科の授業の中

で畑作体験、稲作体験を

実施している。

**一色議員** 昨年厚生文教

常任委員会の研修で訪ね

た石川県の内灘町では、

食育を重点に3度の食事

を取るこの大切さ、き

ちんと挨拶ができること

など、生活態度を正しく

指導している。これは本来家庭でやるべきことだが、今はできていない。

そのため町の予算で独自に2名の教師を採用し、小学校1年生の指導にあたらせている。生活態度がきちんとなれば、おのずと学力も上がってくる

とのこと。当町でも独自で教師を採用する余地があるのか伺いたい。



西小学校のランチタイム

## 中学生などへ上高についての

## アンケートを実施しては

## 道民意向調査がある

## アンケートは実施しない

**一色議員** 上高を入学者の

のニーズにあった高校にするため、中学生と保護

者へアンケートを実施してはどうか。

**北川教育長** 町が実施主

体となりアンケート調査

を直接行う考えはない。

北海道高校教育推進検

討会議による「高校教育

に関する道民意向調査」

の町村のような状況にはならないが、現在の先生方の中で対応を図りたい。

高に具体的に当てはまるのか。

また、美瑛高校はあくまで美瑛高校であって上高ではない。

**北川教育長** 道はこの調

査を基に新しい高校づくりを進めている。我々もこの動きの中で対応したい。

**一色議員** アンケート調

査にこだわるかという、1つは子どもたちのニーズを知ること。2つは町民が上高に注目し、関心を持つこと。大人が関心

を持つと子供たちの見方も変わってくる。ぜひアンケート調査を実施してはどうか。

次に生徒の多様なニ

ーズに依る総合学科の設置の可能性と、普通科単

位制、フィールド制につ

いて検討してはどうか。

**北川教育長** 平成17年に

実施した。

**一色議員** 時代の流れが

早い昨今、7年前の、

それに全道という広範囲

の意識調査がどうして上

しており、上高は1学年1学級のため、総合学科、普通科単位制、フィールド制の設置は難しい。

**一色議員** 1学年4学級

に増やせる方法はないのか。教育長として何か対策は。

**北川教育長** 上高は地域

に根ざした人材を育み、

地域経済を担ってきたばかりでなく、地元唯一の

道立高校として中学卒業者の進路のためにも無く

す事のできない高校であることから、本年9月ま

でに高校に対する振興策を皆様より意見を頂きながら、進学者のニーズに

配慮した上高支援策を進めていきたい。



上高の部活動



米沢 義英 議員

## ご飯の加工は給食センターで 現段階では考えていない

**米沢議員** ご飯の加工は

委託ではなく、給食センターですべきでは。

また、給食費の無料化の考えは。

**北川教育長** 主食の供給体制については、パンは



老朽化が激しい給食センター

エクウエート富良野から、ご飯は西川食品から提供を受けている。ご飯の直営加工について、給食センターは施設自体が狭く、米飯加工設備を設置する場所がないため、直接加工は難しい状況にある。

委託方式の加工は、衛生管理調査も実施されており、直接加工と安全性に変わりはないと考える。

次に、施設整備については、広域連合給食専門部会で議論・検討を進めているので、方針が決定次第、明確にしたい。

また、幼稚園への給食の提供と学校給食費の無

料化については考えていない。

## 中央保育所の運営は町で 民間の力を有効に活用したい

**米沢議員**

中央保育所の運営は町が担うべきと考えるが。

また、保護者への説明

と移譲後の職員の配置は、

保育制度が変わろうと

しているが、内容について

伺う。

**向山町長**

移譲の理由に

ついては、

保護者の精

神疾患や子

どもの発達

障がい、ひ

とり親家庭

など療育支

援を必要と

する家庭が

増えている

実態にある。

障がい児相

談支援事業

などの強化

が急務とな

っており、



民間に移譲が計画されている中央保育所

援センター、放課後児童対策などを想定している。

また、5月30日に保護

者懇談会を開催し、今後

も説明会を開催したい。

## 定住化促進の具体策を 持家取得支援については

検討したい

**米沢議員** 町外から転入

し、住宅を購入する世帯、

地元に住んで、住宅を購

入する40歳未満の世帯な

どに、住宅購入奨励金の

奨励策を。

**向山町長**

定住化対策に

最も重要なことは、住民

の方が転出せずに、この

町で職を得て安心して暮

らしを立てられるまちづ

くりが基本であり、その

観点から農業振興、商工

振興、福祉対策、雇用対

策などに取り組むことが、

定住、移住促進に繋がる

ものと考えている。「定

住移住促進計画」に基づ

き関係団体と連携し、定

住化を着実に進めたい。

保育所の移譲期間は平成26年度を目標としたい。

子育て新システム制度

については、今後も情報

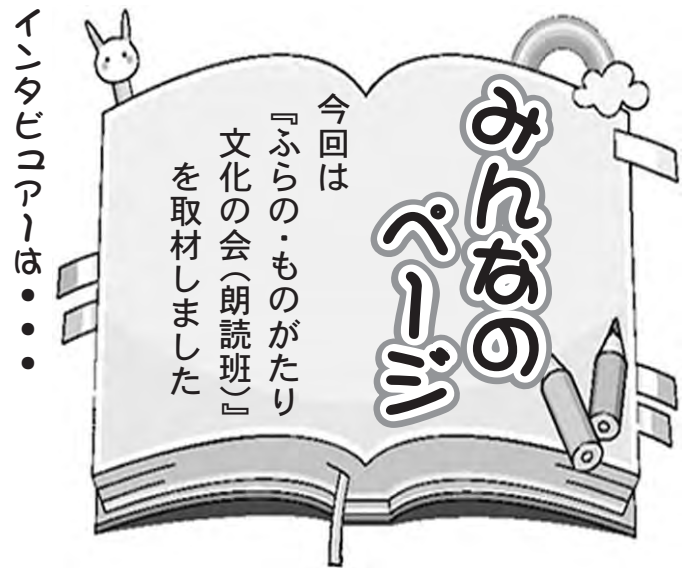
収集に努めたい。



定住化促進住宅

## その他の質問

Q 公営住宅を地域交流の場としての建替えを。  
A 取り組むべき施策と考  
えている。



インタビューは・・・

代表の大西昌子さんに

お話を伺いました。

この日は上富良野小学校で宮沢賢治の代表作「注文の多い料理店」の紙芝居を朗読していました。

「注文の多い料理店」は狩猟にやってきた青年2人が迷った先で「軒のしすたらん」「山猫軒」を見つけ、入っていくという物語。

今回は4名の方が手作りの紙芝居を朗読し、子ども達も絵を見ながら真剣に聞き入っていました。(下段の写真)



## ◆どのような活動を◆

**徳武委員** この会はどのような経緯でいつ設立されたのですか。何名で活動をしているのですか。

**大西代表** 平成17年6月からです。当時は「トトロの会」という団体で主に、1、2年生を対象に読み聞かせを行っていました。その後、小学校より3、6年生を対象とした読み聞かせを行ってほしいと依頼があり、この会を設立しました。今は10名で活動しています。

**徳武委員** この会の朗読班は年にどのくらい活動していますか。主にどのようなところで読み聞かせを行っているのですか。

**大西代表** 年に80回程度、町内外の小学校や高校、ディサービスなどで朗読を行っています。ディサービスでは聞いてもらうのではなく、皆さんも一緒に声を出して読んでいます。

## ◆議会・行政にひとこと◆

**徳武委員** 現在議会にしてほしいことはありますか。

**大西代表** 議員の方々には色々な現場を知ってほしいと思います。

**徳武委員** 議会だよりや、議会が何をやって

ているか知っていますか。傍聴したことはありますか。

**大西代表** 傍聴したことはありませんが、活動は知っています。議会だよりも読んでいます。

**徳武委員** 行政に対して何か望むことはありますか。

**大西代表** みんなで力を合わせて、楽しく住みやすい町にしてほしい。例えば日の出公園のロッジをカフェなどにし、人が集える場所になるといいですね。

**徳武委員** 上富良野に住んで良かったことはありますか。

**大西代表** 人が親切で子どもが素直なところ。食べ物美味しく景観が良いことです。十勝岳や温泉も良いです。

**徳武委員** 逆に課題はありますか。

**大西代表** 外に対して消極的。PR不足もあると思うので、連携を作っていきたいと思っています。





# 議会のうごき

## ●北海道町村議会議員

### 研修会に参加

7月3日に札幌市で開催された北海道町村議会議員研修会に議員13名が出席し、明治大学経済学部教授 牛山久仁彦氏から「議会改革の展望と課題」と外交ジャーナリスト・慶應義塾大学教授 手嶋 龍一氏から「世界の中の日本・アジアの中の日本」の講演を受講しました。



## ●泊原子力発電所・

### 「とまりん館」を調査

前日の研修会に引き続き、7月4日、泊村の泊原子力発電所と原子力PRセンター「とまりん館」を視察し、調査を行いました。

泊発電所主要施設の概要や原子炉容器、発電の仕組みについて、ウランの核分裂による熱エネルギーで電気を作る過程などの説明を受けました。

また、東日本大震災後の安全対策については、原子力事故を踏まえた対応をしており、定期的に職員の教育・訓練が行われ、ミスを防ぐ努力をしています。

## ★議会 ひとくちメモ★

### 『傍聴してみませんか?』

定例町議会は年4回(3月、6月、9月、12月)、臨時町議会は必要に応じて随時開かれ、公開しています。

議会の傍聴は、受付名簿に氏名・年齢・住所を記入するだけです。

### たづね、

「つだけ守つていただきたいことがあります・・・」

●静かに傍聴をお願いいたします。

●人に危害を加え、迷惑を及ぼすおそれのある物の持込はできません。

●帽子やコートなどの上着の着用は禁止です。

●議場での飲食や喫煙は禁止です。

●携帯電話は使用しないでください。

当日審議する議案も傍聴席に用意してありますので、議員と同じ議案を読みながら傍聴することが出来ます。

議会や町政に関心や興味のある方、そうでない方もお気軽にお越しください。詳しくは、ホームページをご覧ください。ただ、議会事務局までお電話ください。

### 議会事務局

電話 4516992

URL <http://www.town.kanifurano.hokkaido.jp>

## やまびこ

■上富良野町の野も山も緑まばゆい夏の季節となりました。

■各学校や幼稚園、保育所等の子どもたちの躍動する楽しい運動会も全て終了しました。

■早咲きのラベンダーの花が気高に香りを充満させて、紫の絨毯を連想させています。

■曾田香料(曾田正治氏)がフランスでラベンダーの種を手に入れて持ち帰り、試作したのが始まりといわれています。

■秀峰十勝岳の大正火口で発光が確認され、爆発ではと心配したけれど、気象台は硫黄などの燃焼で、噴火の兆候は無いとのこと、安堵したところです。

■かみふらの花と炎の四季彩まつりが催され、町内の観光地は一段と活気付き、田畑の農作物も豊穡の秋に備え、順調な生育が続いています。

■議会だよりを通じ、まちづくりの一助となる事を願う町民の一人であります。(岩崎 記)

### 議会広報特別委員会

委員長	米沢 義英
副委員長	村上 和子
委員	徳武 良弘
"	岩崎 治男
"	一色 美秀
"	岡本 康裕



議会の様子を見にきてください！ 次回の定例会は9月です。